

ERE information

Vol. 15 2009年2月20日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 / 電話 03 3267 - 4819 / e-mail: info@ere.or.jp**Contents**

- ▶ 『ERE』、第14回に対して成績良好：第15回 ERE (経済学検定試験) 試験結果
- ▶ 創価大学経済学理論同好会が過去最高点で優勝、3連覇達成！
初参加の「経済分析同好会 (福島大学)」が準優勝 / 個人賞トップは470点の4名
- ▶ 大学対抗戦：参加者の声回覧 監修
- ▶ 事務局からのご連絡

《第15回 ERE (経済学検定試験) 試験結果》**▶ 『ERE』、第14回に対して成績良好**

2008年12月7日(日)に実施いたしました、第15回 ERE / ERE ミクロ・マクロの成績結果等がまとまりました。今回の成績概要は次表のとおりですが、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」ともに『ERE』のほうが『ERE ミクロ・マクロ』より、いずれも高い結果となっています。また、平均点につきましては、第14回に対して『ERE』では、ミクロ経済学・金融論の上昇を主因に前回の413.1点から461.0点と大きく上昇しました。一方、『ERE ミクロマクロ』では、前回の194.7点から191.2点と横ばいで推移しています。

《資料1 - 1》科目別成績**『ERE』**

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	139.1点	127.0点	61.8点	47.1点	47.6点	38.3点
(前回)	96.3点	134.5点	58.2点	38.8点	49.9点	35.3点
標準偏差	48.63点	48.67点	18.91点	24.06点	21.89点	21.59点
(前回)	37.67点	47.37点	20.72点	20.33点	24.14点	17.46点

《資料1 - 2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	99.9点	91.3点
(前回)	86.6点	108.1点
標準偏差	35.76点	36.96点
(前回)	31.17点	40.56点

《資料2》成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	174名	1,452名
受験者数	115名	1,172名
平均点	461.0点	191.2点
標準偏差	141.89点	64.28点
最高得点	830点	450点
最低得点	190点	50点

《資料3》団体別応募状況

ERE / EREミクロ・マクロ			
①東京国際大学	137名	⑳福島大学	21名
②明海大学	92名	㉑明治大学	21名
③明治学院大学	87名	㉒宇都宮大学	18名
④成蹊大学	67名	㉓山口大学	17名
⑤中央大学	62名	㉔大阪商業大学	17名
⑥早稲田大学	52名	㉕群馬大学	16名
⑥琉球大学	52名	㉖一橋大学	15名
⑧大阪府立大学	50名	㉗東京大学	15名
⑨創価大学	47名	㉘埼玉大学	14名
⑩立命館大学	38名	㉙(専)福岡カレッジオブビジネス	14名
⑪大原簿記公務員(専)小倉校	36名	㉚和歌山大学	14名
⑪日本大学	36名	㉛九州産業大学	13名
⑬大原公務員医療(専)福岡校	35名	㉜熊本壺溪塾学園	13名
⑭法政大学	32名	㉝姫路獨協大学	13名
⑮久留米大学	28名	㉞岩手県立大学	12名
⑯慶應義塾大学	27名	㉟広島修道大学	12名
⑰長崎県立大学	26名	㊱沖縄大学	11名
⑱酪農学園大学	25名	㊲弘前大学	11名
⑲高崎経済大学	24名	㊳旭川大学	10名
⑲大分大学	24名	㊴東北大学	10名

《資料4》ERE上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1			石田 泰之	S
2	創価大学	経済学部	三田 光洋	S
3	創価大学	経済学部	高岡 正法	A+
3	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	平野 智久	A+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
5	創価大学	経済学部	佐々木 広 夢	A+
6	立命館大学	経済学部	小 林 広 和	A+
7	慶應義塾大学	経済学部	今 関 雅 貴	A+
8	明治大学	経営学部	木 藤 康 弘	A+
8	東京大学	農学部	福 永 周 平	A+
8	創価大学	経済学部	小 島 健	A+
11	創価大学	経済学部	中 井 秀 幸	A+
12	中央大学	経済学部	佐 藤 篤 史	A
12	神戸大学	経済学部	清 水 宏太郎	A
14	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	中 尾 貴 子	A
15	マルカン酢	総務部	岩 崎 尚	A
16	ZEST Asset Management		米 澤 賢 哉	A
16	早稲田大学大学院	経済学研究科	松 岡 潤	A
18	福島大学	経済経営学類	丹 治 億 勇	A
19	京都大学	農学部	谷 内 史 則	A
20	神戸大学	経済学部	萩 野 宏 喜	A
21	早稲田大学	政治経済学部	(非公開)	B+
21	慶應義塾大学	経済学部	(非公開)	B+
21	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	酒 巻 将 之	B+
24			清 水 邦 敏	B+
24			(非公開)	B+

《資料5》EREミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1	創価大学	経済学部	寺 田 和 之	S
2	琉球大学	経済学専攻	比 嘉 一 仁	S
3	福島大学	経済経営学類	安 田 雄 一	S
3	中央大学	経済学部	當 舎 修	S
3	T A C	公認会計士講座 専任講師	小 野 友 輔	S
6	早稲田大学	政治経済学部	小 柴 優	S
6	東京大学	経済学部	樋 口 宜 修	S
8	早稲田大学	政治経済学部	森 本 晃 司	S
8	創価大学	経済学部	三 谷 輝 義	S
8	創価大学	経済学部	杉 本 大 紀	S
8	早稲田大学	政治経済学部	武 田 明 典	S
8	早稲田大学	政治経済学部	野 崎 裕 嗣	S
13	小樽商科大学	商学部	小 暮 祐 一	S

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
13	新潟大学	経済学部	李 テ イ	S
13	大原公務員医療専門学校 福岡校		(非公開)	S
16	筑波大学	第一学群・社会学類	砂 川 友 吾	S
16	創価大学	経済学部	渡 邊 鉄 兵	S
16	東京国際大学	経済学部	羽賀田 悦 正	S
19	明治大学	政治経済学部	矢 野 宏 治	A+
19	放送大学	教養学部	小田原 義 人	A+
21	慶應義塾大学	文学部	蛇 塚 祐 生	A+
21	埼玉大学	経済学部	大 谷 昌 弘	A+
21	早稲田大学	政治経済学部	深 谷 伸 彦	A+
24	福島大学	経済経営学類	八 巻 博 人	A+
24	福島大学	経済経営学類	奥 山 拓 生	A+
24	福島大学	経済経営学類	浮ヶ谷 佳 映	A+
24	福島大学	経済経営学類	林 曠	A+
24	福島大学	経済経営学類	小野寺 活 智	A+
24	法政大学	経済学部	押 切 謙 一	A+
24	早稲田大学	政治経済学部	宇 野 慧	A+
24	立命館大学	経済学部	末 地 浩史郎	A+
32	東北大学	経済学部	杉 山 泰 平	A+
32	東北大学	経済学部	植 草 貴 治	A+
32	福島大学	経済経営学類	牧 野 裕 一	A+
32	高崎経済大学	経済学部	(非公開)	A+
32	高崎経済大学	経済学部	(非公開)	A+
32	あずさ監査法人		宮 嶋 直	A+
32	東京大学	経済学部	坂 倉 伊 織	A+
32	筑波大学	社会学類	山 川 直 樹	A+
32	慶應義塾大学	経済学部	石 橋 裕 貴	A+
32	創価大学	経済学部	安 田 章 子	A+
32	創価大学	経済学部	森 岡 久 美	A+
32	早稲田大学	政治経済学部	木 澤 諒 平	A+
32	早稲田大学	政治経済学部	広 瀬 健 司	A+
32	慶應義塾大学	経済学部	浜 田 諒	A+
32	新潟大学	経済学部	小 松 智 人	A+
32	長崎大学	経済学部	上 田 英 治	A+
32	久留米大学	経済学部	諸 永 将 吾	A+
32	大原簿記公務員専門学校 小倉校	教務部 法律課	星 本 祐 哉	A+

▶ 創価大学経済学理論同好会が過去最高点で優勝、3連覇達成！ 初参加の「経済分析同好会(福島大学)」が準優勝/個人賞トップは470点の4名

14校24チーム、合計163名が参加した第10回「大学対抗戦」(2008年12月7日実施)は、「創価大学経済学理論同好会(創価大学)」が1,860点の過去最高点を獲得し、2位に大きく水をあけ堂々の3連覇をかざりました。歴代の連覇達成記録では、「政治経済攻研究会(早稲田大学)」が4連覇を遂げていますが、これにあと一步とせまりました。

準優勝は、初参加ながら1,550点と好成績をおさめた「経済分析同好会(福島大学)」です。

第2回大学対抗戦で優勝経験をもつ「平成の適塾生たち(熊本壺溪塾学園)」が1,530点を獲得して第3位に入り、古豪復活の兆しをみせました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、平野智久さん(熊本壺溪塾学園)、三田光洋さん・佐々木広夢さん・高岡正法さん(ともに創価大学)の4名で同得点の470点でした。なお、個人賞は、400点以上の成績をおさめた14名の方が獲得しました。優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者のみなさまには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	創価大学経済学理論同好会	創価大学	1,860点	465.0点
準優勝	経済分析同好会	福島大学	1,550点	387.5点
3位	平成の適塾生たち	熊本壺溪塾学園	1,530点	382.5点

知識から経済知力へ

社会人・学生を対象とした新しい能力判定テスト
/ 経済知力を日経TESTで試せます

大学ゼミ対抗戦も実施します

NIKKEI TEST

第2回 4月19日(日)実施

受験申込受付中<3月16日(月)締切>

【第2回実施要領】

主催 日本経済新聞社・日本経済研究センター
試験会場 札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡
受験料 5,250円(税込)

詳しい内容は

大学対抗戦 参加者の声

3連覇！ 創価大学経済学理論同好会

『今回もいろいろな方のご協力、応援のお蔭で3度目の優勝という結果を残すことができました。まずは皆様に感謝申し上げます。』

過去3回の出場を思い返すと、E R Eの準備は学生間で自発的に行うことが有効だと感じます。学生たちが各自で勉強し、身に付けた知識を持ち寄ってお互いの弱点を補い合うことで効率的に勉強できました。実際、私たちは部員達の有志でパワーポイントやレジュメをオリジナルで制作し、過去問題を復習問題として用いて週3回のペースで対策勉強会を行いました。教える側はその準備が経済学の概念の復習となり、学生同士ということもあって気兼ねなく質問・意見交換をすることができ、理解がとて深まりました。このように団体で勉強することのメリットを最大限に活かせるよう努力しました。その他の準備として、過去の問題は出場するたびに、第1回から最終回まで全て解いています。

出題傾向や問題の記述の仕方を調べて、勉強に最適なテキストを吟味し、効率的な勉強会を目指しました。今後も部員間の団結を大切に、日々の勉強に励んでいきますので、是非ともみなさん次回もお手合わせをお願いします。』

(創価大学経済学理論同好会)

準優勝 経済分析同好会

『今回初めて大学対抗戦に参加しましたが、準優勝という望外の成果を得ることができました。これも先生方をはじめ、多くの方の助けがあったことだと思っています。大学対抗戦をきっかけに、学生有志による勉強会や経済学をネタにして語り合う機会が増えました。』

自分の実力を測る機会であるだけでなく、日々の勉強の励みにもなりますので、これからも積極的に参加していくつもりです。皆で経済学について語り合い、教えあいながらさらにより成績を残せるよう頑張りたいと思います。』

(福島大学 経済経営学類 3年 安田 雄一さん)

個人賞 平野 智久さん

『E R Eで第3位は残念でしたが、ミクロ・マクロ限定とはいえ大学対抗戦で第1位を獲得できた点は嬉しく思います。理系の大学(九州大学工学部)に通学する私は経済に関しては門外漢でした。そのような状況の下、熊本壺溪塾学園で一般知能・一般教養・法律・政治などとともに経済学を学び、E R E上位入賞を目標に勉強したこと自体がペースメーカーとして有効に機能しました。』

今年4月からは熊本県庁行政職に採用が内定しています。日々の業務に懸命に取り組みながらも経済学の勉強を続け、いつかE R Eで師匠の矢住勝大先生(第10回~12回E R E 3連覇経験者)を倒して、個人優勝を目指します。さらに第3位に終わった大学対抗戦については、矢住先生の下で学ぶ後輩に第2回目の団体優勝の夢を託します。』

(熊本壺溪塾学園 公務員専攻科)

第11回 「大学対抗戦」参加チーム募集

2009年7月5日(日) 実施

受付期間 4月20日(月)～ 5月22日(金) 消印有効

エントリー料 (無料)

団体賞

「ダイヤモンド賞」

優勝チームには、表彰状と受験者全員に3,000円の図書カード、協賛のダイヤモンド社より受験者全員に「週刊ダイヤモンド」を3ヵ月間無料贈呈。

「経済セミナー賞」

準優勝チームには表彰状、協賛の日本評論社から受験者全員に月刊「経済セミナー」を6ヵ月間無料贈呈。

個人賞の副賞

「ファイナンシャル・プランナーズ賞」

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会より、月刊誌『FPジャーナル』が6ヵ月間無料贈呈されます。

「金融知力賞」(上位5名)

金融知力普及協会より、金融知力プログラムの通信講座『ベーシックコース』の無料受講票が贈呈されます。

「日経賞」(個人賞Sランク者)

日本経済新聞社より、日本経済新聞の購読券(3ヵ月分)と「やさしい日経経済用語辞典」一冊が贈呈されます。

【参考】

今までの参加校 (*印は直近の第10回「大学対抗戦」参加校) <50音順>

青山学院大学 宇都宮大学 大阪大学 *大阪商業大学 *小樽商科大学
*慶應義塾大学 九州大学 京都大学 *熊本壺溪塾学園 *埼玉大学 上智大学
*創価大学 *高崎経済大学 中央大学 *筑波大学(同大学院) *東京大学
同志社大学 東洋大学 *長崎県立大学 名古屋大学 名古屋経済大学 新潟大学
日本大学 *福島大学 福岡カレッジ・オブ・ビジネス *一橋大学 武蔵大学
山形大学 *立命館大学 和光大学 *早稲田大学 (以上31校)

▶事務局からのご連絡

第16回 E R E (経済学検定試験)実施要綱

『E R E』実施要綱

実施回	第 16 回
試験日	2009年7月5日(日)
試験時間	午後1時00分～午後4時00分(180分)
受付期間	2009年4月20日(月)～2009年5月22日(金) 消印有効
受験料	5,250円(税込)
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/金融論/国際経済/統計学
出題形式	4 答択一式/90問,1 問10点,900点満点
持込品	受験票,筆記用具(HB程度の鉛筆またはシャープペンシル(ホールペンは不可),消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付本人確認書類(学生証・運転免許証・パスポート等)

『E R E』ミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 16 回
試験日	2009年7月5日(日)
試験時間	午後1時00分～午後2時40分(100分)
受付期間	2009年4月20日(月)～2009年5月22日(金) 消印有効
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学(注)
受験料	3,150円(税込)
出題形式	4 答択一式/50問,1 問10点,500点満点
持込品	受験票,筆記用具(HB程度の鉛筆またはシャープペンシル(ホールペンは不可),消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付本人確認書類(学生証・運転免許証・パスポート等)

(注) 『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

